

次期「まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」策定に関する アンケート調査のお願い

日頃から市政に対しご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

益田市では、平成 27 年に「まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略」を策定し、地方創生・人口減少対策のための事業に取り組んできました。

令和 2 年度末で総合戦略の計画期間が終了するため、令和 3 年度から令和 7 年度までの次期総合戦略の策定を進めているところですが、策定の参考とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なお考えをお聴かせください。

なお、すべての質問にお答えいただかなくても構いません。
ご協力よろしくお願いいたします。

令和 2 年 6 月 益田市長 山本 浩章

記入にあたってのお願い

- **名前を記入する必要はありません。**調査結果は、統計的に処理します。
個人が特定されることはありませんので、**ありのままを回答してください。**
- ボールペン、万年筆等、消えないもので記入してください。
- 記入後は、お手数ですが **6 月 26 日(金)までに**
FAX、メール、郵送、持参のいずれかの方法で市政策企画課へご提出
をお願いいたします。

※専用の返信用封筒をお持ちの場合は、そちらをご利用ください。

- このアンケートは、インターネットからも回答できます。
益田市ホームページから、「しまね電子申請」の回答ページへお進みください。

URL : <https://www.city.masuda.lg.jp/soshiki/173/detail-54758.html>

◆お問い合わせ

益田市政策企画局政策企画課

〒698-8650 島根県益田市常盤町 1 番 1 号

TEL : 0856-31-0121 / FAX : 0856-23-7708 (代)



あなたご自身のことについておたずねします

問1. あなたの性別について、当てはまる番号に1つだけ○を付けてください。

1 男性	2 女性
------	------

問2. あなたの年齢について、当てはまる番号に1つだけ○を付けてください。

1 20歳未満	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
5 50～59歳	6 60～69歳	7 70歳以上	

問3. あなたの主な職業について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1 農林業	2 水産業
3 自営業（農林水産業を除く）	4 会社員（農林水産業を除く）・公務員・団体職員
5 パート・アルバイト	6 家事専業
7 学生	8 無職
9 その他（	）

次期総合戦略のについてお伺いします

問4. 現行の総合戦略では、次の4つの基本目標を設定し、取組を進めてきました。

今後5年間において、あなたが重要だと思う取組内容について、基本目標ごとに3つまで○を付けてください。

基本目標1 定住の基盤となるしごとをつくる

特に若い世代が、高校卒業後に地元で就職したり、進学等によって転出した後も再び益田に帰り地域で活躍できるよう、多様な職と魅力のある雇用の場をつくる取組を進めています。

【取組内容】

1 創業・起業支援	2 市外からの企業誘致
3 農林水産業の活性化	4 次世代の産業の担い手確保・育成
5 特産品のブランド化	6 観光振興・観光産業の活性化
7 道の駅などの交流拠点の整備	8 山陰道などの高速道路網の整備
9 萩・石見空港の路線維持	

基本目標2 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

出生率の向上や出生数の増加のために、結婚・妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援と、子どもを安心して産み育てられる環境を向上させる取組を進めています。

【取組内容】

1 婚活などの縁結び事業の推進	2 仕事と子育ての両立支援
3 男性の育児参加推進	4 妊娠から出産、子育てまでの切れ目ない支援
5 古い校舎の改修など、学校施設の整備	6 学力向上のための学習環境整備
7 子育てや教育を支える人材の育成	8 地域ぐるみの子育て環境整備

基本目標3 益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる

益田の豊かな自然環境や、安心して安全な生活環境、市外から来た人を温かく迎え入れる土地柄など、益田の魅力を発信し、Uターンや関係人口^{※1}の増加を促進する取組を進めています。

【取組内容】

1 Uターンの促進・PR	2 Uターン者に対する支援
3 Uターン者を支える人材の育成	4 関係人口の増加のための取組
5 子どもたちに地元への誇り・愛着を持ってもらうためのふるさと教育	6 子どもたちと益田で活躍する大人との交流

※1 関係人口：移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人を指す言葉。

基本目標4 地域にあるものを活かし、安心して暮らせまちをつくる

それぞれの地域で、市民と行政が一緒になって、人と人のつながりを大切にした地域の自治力向上や、地域にあるものを活かした魅力づくりを促進する取組を進めています。

【取組内容】

1 地域自治組織への支援	2 地域の資源を活かし、地域を活性化させる取組
3 路線バスや生活バスなどの地域公共交通の整備・維持	4 高齢者の健康づくりのための取組
5 防犯・防災のための取組	6 地域の中で女性の活躍を進める取組
7 地域づくりを担う人材の育成	

問5. 益田市では総合戦略を実行するにあたり、各施策を担う人材、そして幅広く将来の地域を担う人材の育成が不可欠であるとの考えから、上記問4の4つ全ての基本目標における施策に人材育成を盛り込み、そのための協働体制の構築と取組を推進しています。

益田市が目指す「ひと」は、以下のとおりです。

- 未来の担い手 将来の益田市を支えるため、自らの可能性を広げることのできるひと。
- しごとの担い手 しごとを継続発展させるひと。しごとを創りだせるひと。
- 地域づくりの担い手 地域のひとと協力し、地域を支えるひと。地域の資源を活かせるひと。

現在の取組を踏まえ、次期総合戦略においても施策を推進する「ひと」を継続的に育てるために必要なことは何だと思えますか。

自由記述

問6. 近年、情報通信分野などにおいて新たな技術が発展し、新技術をまちづくりに活かす取組が全国で行われています。

益田市において、上記問4の基本目標に向けた取組を今後も推進していくためには、どのような技術やしくみが必要だと思えますか。

- 例)・子育てに関する問い合わせに、AIを組み込んだ対話式サービス(チャットボット)を活用し、休日や夜間でも気軽に問い合わせができるようにする。
- 農業の担い手が少ない地域で、田畑に取り付けたセンサーで温度や湿度などを計測し、農業の効率化を図る。
 - 学校や公民館にタブレットなどを配布し、家庭の環境や世代に関わらず誰もが気軽にインターネットを通してつながりが持てる環境を整備する。
 - ロボットや自動運転などの技術に対応できるよう、新たなルール(条例・規則など)の制定や規制緩和をする。

自由記述

問7. 益田市では人口が減少傾向にあり、今後もさらに減少していくことが予想されます。

人口減少に歯止めをかけるためには、上記問4に掲載した取組内容の他に、どのようなことが必要だと思いますか。

自由記述

問8. 益田市として、今後どのような政策に重点を置いて取組むべきだと思いますか。

自由記述